

少しでも早く、高く、遠くへ—— 小学生が全力で挑んだ陸上競技大会



1_選手宣誓をした嶋崎さん(右)と福積さん 2_上位2人の白熱した戦いとなった男子走り高跳び 3_大きな跳躍を見せた走り幅跳びの選手たち 4_男子60メートルハードルを制した宮岡くん(左) 5_スタートの合図で一斉に飛び出す短距離走 6_小規模校の児童たちも力を合わせて全力で頑張った 7_リレーで栄冠を手にした五十崎小

●各種目の優勝者(敬称略)

種目名	氏名	記録
60メートル走	男子 土居 美月(天神)	8秒7
	女子 谷松 由彩(五十崎)	9秒2
100メートル走	男子 伊達 礼翔(天神)	14秒1
	女子 東灘 優(内子)	15秒3
60メートルハードル	男子 宮岡 虎蒔(立川)	9秒9
	女子 東灘 優(内子)	10秒5
走り幅跳び	男子 折本 怜正(内子)	4メートル09
	女子 谷松 由彩(五十崎)	3メートル50
走り高跳び	男子 瀧野 菜斗(内子)	1メートル32
	女子 平岡 心(内子)	1メートル18
ソフトボール投げ	男子 宮瀬 瑛太(内子)	54メートル87
	女子 大塚 美柚(小田)	38メートル02
400メートルリレー	男子 内子小学校	59秒0
	女子 五十崎小学校	62秒4

「令和4年度喜多郡小学校陸上競技大会(記録会)」が10月14日、内子運動公園で開かれました。開会式では大瀬小の嶋崎宗佑さんと福積ゆあさんが、「お世話になった全ての人の感謝の気持ちをお忘れず、仲間との絆を強めながら、最後まで全力で競技します」と声高々に宣誓し、熱戦の火ぶたを切りました。

大会は決勝戦のない記録会形式で、60メートル走など14種目に町内7校から延べ約200人の選手たちが出場しました。五十崎小の谷松由彩さんが3冠を達成するなど、みんなが練習の成果を発揮。記録を伸ばそうと頑張る姿に、大きな拍手が送られていました。

各種目の優勝者と記録は次の通りです。



表彰式に出席した皆さん。小野植町長(後列中央)と記念撮影

日ごろから健康づくりに努め、地域で元気に活躍している人を顕彰する「高池健康づくり優良者表彰式」が10月7日、内子町役場本庁舎で行われました。受賞者は米田悦子さんら8人。小野植正久町長は「いつまでも元気な姿を見せてくれる皆さんは、私たちの目標。これからも健康に留意して豊かな人生を送ってほしい」とあいさつし、各受賞者に賞状と記念品を手渡しました。

元気な姿は私たちの目標 高池健康づくり優良者表彰

代表あいさつをした米田さんは「町長の言葉に元気が出た。100歳まで頑張る」と笑顔でした。

落語界の師匠6人が出演する「内子座落語まつり」が9月23日～10月2日の間、5年度から大規模改修をする予定の内子座で開かれました。改修前に文化芸能を盛り上げようと企画されたもので、笑福亭鶴瓶さんを皮切りに、立川志らくさん、桂南

改修前の内子座で「落語まつり」 抱腹絶倒の話芸に大満足の6公演

光さん、春風亭昇太さん、立川談春さん、立川志の輔さんが熱演しました。鶴瓶さんは「鶴瓶」というフリートークで、内子町を訪れたテレビ番組の裏話などを紹介。プロの話術で来場者の心をつかみ、満席の会場に笑いの渦を起し続けていました。



新作落語の「青木先生」、古典落語の「妾馬」を披露した鶴瓶さん

茂山千三郎さんが内子座で狂言公演 内子こどもも狂言くらぶも舞台で躍動

「茂山千三郎・内子狂言くらぶ披露公演」は10月22日、内子座で開かれました。公演ではまず、内子町の子どもたちが「附子」と「かみあそび」を披露。「かみあそび」は内子町を舞台とした新作狂言で、以前は主役の「東の者」と「西の者」は大人が演じていました。6世代目の配役となる今回は、小学生が

主役を演じるなど、その成長した姿に会場から感嘆の声が上がっていました。大人たちも負けじと「仁王」と「太刀奪」を披露した他、茂山千三郎さんらプロの狂言師による「千鳥」も上演されました。大人の部・2年目の大野麻美さんは「今回は観客の反応を見ながら演じられた。喜んでもらえて良かった」と笑顔でした。



1_内子こども狂言くらぶ(大人の部)の「仁王」 2_かわいらしい「附子」で会場が笑顔に 3_太郎冠者と酒屋の駆け引きが楽しい「千鳥」